

アスベスト・尼崎の会

第17回総会のご案内

2005年6月29日の、クボタ旧神崎工場周辺住民を中心にアスベストによる健康被害が広がっていることが報道された、いわゆる「クボタショック」から6月で19年目を迎えます。

尼崎におけるアスベストによる被害は拡大の一途をたどっています。厚労省が発表した中皮腫死亡者数は年間1,400人、10万人に1人の割合、尼崎市における中皮腫死亡者は、毎年30~40人で1万人に1人と、全国平均の10倍以上のハイリスクです。

特に、昨年12月末現在でクボタが明らかにした旧神崎工場周辺のアスベスト被害者（石綿肺、中皮腫、肺がんなど）に対する「救済金」の支払いは393人、クボタ

クボタによる石綿被害「救済金」、労災上乗せ支給状況の労働者の被害と合わせると、646人に達します。アジア最大の被害地域となっています。

クボタは1995年まで旧神崎工場でアスベストを使用し、工場外に粉塵を排出していました。発症するまで20~50年の潜伏期間があることを考慮すれば、被害はまだまだ続きます。

下記の日程で第17回総会を開催し、1年間の活動を振り返り、今後1年間の運動方針を確認します。ご多忙な中とは存じますが、多数のご参加をお願い致します。

記

2024年4月20日(土) 午後2時~

小田南生涯学習プラザ 大会議室

(JR 尼崎駅から徒歩5分、旧小田支所があった場所です)

アスベスト被害からいのちと健康を守る尼崎の会

〒660-0805 尼崎市西長洲町2-34-1 尼崎教育会館2階

TEL/FAX 06-6489-2600

